

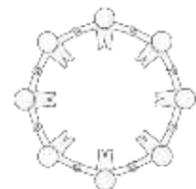
2024年10月の行事予定表

1	火		16	水	
2	水		17	木	祈祷会
3	木	祈祷会	18	金	
4	金		19	土	
5	土		20	日	大月師 壮年会、女性会
6	日	大月師 聖餐式、役員会	21	月	
7	月		22	火	
8	火		23	水	
9	水		24	木	祈祷会
10	木	祈祷会	25	金	
11	金		26	土	山陽地区聖会（水島教会）
12	土		27	日	山陽地区聖会 オンライン礼拝
13	日	大月師	28	月	
14	(祝)		29	火	
15	火		30	水	
			31	木	祈祷会

10月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 例年に無い残暑が続いたこの9月、心を痛めるニュースもありながら、この岡山教会では毎週の礼拝に恵まれ、感謝しかありません。
- ◇ 今号は9月16日に行われたCSワンデースクールのレポートと、9月22日の礼拝後に開かれた長寿を祝う会の様子をお届けいたしました。
- ◇ この10月も多くの行事、催しが計画、予定されています。主に感謝しつつ、教会が一つとなって多くの恵みが増し加えられますよう歩みましょう。



教会月報 2024年10月
No.401

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

「よかった探し」

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

(I テサロニケの信徒への手紙 5:16-18)

赤ちゃんを亡くされたご家族に、ある牧師は言われました。「天の御国に帰ったのだから泣いてはいけませんよ」。別の牧師は近づいてそっと言われたそうです。「悲しいでしょう。泣いてもいいんですよ」。

有名なこのみ言葉を思うとき、私はいつも、子どもの時に読んだ童話『少女パリアナ』を思い出していました。“幸せ探し”“よかった探しゲーム”はとても素敵だけれど、でも無理をしていないの？その秘密を知りたいと、今回、文庫『少女ポリアンナ』を読み直してみました。

ポリアンナは無理をしているのではなく、いつもとても率直で自然でした。湧き出てくるお喋りとともに、時に本音の悲しい心の声が漏れてしまう時もありました。また何でも受け入れるわけでもありませんでした。「それじゃ、あたしにはぜんぜん時間がないわ——ちゃんと生きる時間が」と主張して、生き生きと生きることを確保していたのです。

亡き牧師の父が遺してくれた”主にあって喜ぶ“ゲームをしながら、温かく楽しく諦めず生きるポリアンナの姿勢が、身近な人々を変え、町全体に広がっていった様は、小説だから？ いえ、きっと真実だと感じました。もう一度手に取って、読んでみられませんか？

牧師 大月康子

4年ぶり！！ ワンテースクール開催！！



9月16日（月・祝）10：30より、教会学校ワンテースクールの4年ぶりに開催することができました。
司会・Y姉のお祈り、子どもたちの自己紹介、賛美に続いて大月先生のお話を聞きました。そしていよいよ“流しそうめん”にチャレンジ。三段式の流しそうめん器を子どもたちが説明書を見ながら組み立て、スイッチを入れると水が流れて「おお～！」と歓声。そうめんが続いて、ひやむぎ、ラーメンも流れてきて溢れそう。おなか一杯楽しみました。最後に「暗唱聖句～Iテサロニケ5：16～18」を覚えてプレゼントをもらいました。
出席の子ども達7名は、S.M.くん（高2）、R.M.くん（中3）、S.M.くん（小6）、Y.F.さん（小6）、Fくん（年長）、Jくん（高2）、Eさん（中3）。おとな達は、校長の大月先生はじめY姉、M姉、F姉、含め10名で総勢17名でした。
久しぶりに会えたメンバーの成長ぶりに、とても励まされました。
（編集部）



写真上 そうめん流しを楽しむ様子。
みんなで美味しく頂きました。
写真中左 大月先生の聖書のお話。
写真中右 暗唱聖句披露の様子。
写真下 そうめん流し機の組み立て。
みんなで頑張りました。

9月22日 長寿を祝う会開催



（Y姉の司会による祝う会のはじまり）



（永松師によるお祝いの言葉とお祈り）

9月22日（日）礼拝後、集会室において今年の「長寿を祝う会」を催すことができました。今夏はあまりの暑さのため、通常より一週間遅らせてのお祝い会でした。
80歳以上の兄姉8名のうち4名～S.K.兄、T.N.兄、Y.B.姉、M.M.姉が出席され、赤飯弁当やお菓子を頂きながら、皆さんと和やかな会食タイム。大月先生より祝辞をいただき、「大事なこと、困りごとは、まず神様に電話してください。そして、教会にも遠慮なく電話してください。」とお奨めがあり、続いてご長寿皆さまからお一人ずつスピーチをいただきました。
K兄はイザヤ書40章8節の聖句「草は枯れ、花はしぼむが、わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ。」を額装され、「御言葉は繰り返し書くことで身に着く、沁みる。」、N兄は「皆さんと一緒に勉強しなおります、これからもよろしくおねがいします。」と笑顔で挨拶、Y姉は「今年もお元気で皆さんと教会に来て感謝します。朝晩くりかえす御言葉は、Iテサロニケ5章16～18 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。です。」、そしてM姉は、「どの御言葉も私にとっては大事ですが、特にヨシュア記1章5節 わたしはあなたを見放すことも、見捨てることもない。」を感謝の涙と共に証しされました。
続いて、大月先生よりご長寿皆さまに、恒例の「みことばカレンダー」が贈られました。（欠席の大田建士師、Y.K.子姉、T.M.姉、M.M.兄にはお送りします）
最後に永松先生のお祈りをいただいて、幸いな会を終えることができ感謝でした。（出席18名）

～長寿を祝う会に寄せて～
大田 建士
献身は30歳です。二度目の倒産にあい私個人は何が出来るかの問でした。私が牧師になるように、30年の姉の影の祈りがありました。最後の赴任のみ言葉はIIテモテ4:5です。奔放に生きてきた者としてはまさに荒野の40年です。キリストの不思議な導きがあり、多くの方々と家族に支えられた感謝の生涯です。（引退教職 在広島）

（下・当日ご出席の左から片岡兄・Y姉・中山兄・松本姉 と祝辞を述べられた大月先生）

